

タイトル名：イノシシ対策 A 級インストラクターによる集落環境点検

対象地区名：南島原市管内全域

### 1. 対象地区の概要

南島原市は、島原半島の南東部に位置し、人口は約 49,000 人、農業は市の基幹産業であり、県内でも有数の農業地帯である。

一方で、イノシシの住処となる耕作放棄地の増加や、山と農地が近接している地域もあり、イノシシによる農作物の被害が拡大しており、南島原市では補助事業を活用した防護柵の導入が進められている。H25 年度のイノシシによる被害額は約 3,000 万円であり、近年は中山間地域だけでなく、市街地近くにまで出没が見られ始めてきている。

### 2. 具体的な取り組み

補助事業を活用して防護柵設置に取り組む集落が増えたが、防護柵を設置しても再度イノシシによる侵入被害が見受けられる集落も出ていた為、南島原市鳥獣害防止対策協議会が、防護柵の管理について代表者へのアンケートによる実態調査を行った。そしてアンケートで被害があった地区に、代表者の立ち会いの下、イノシシ対策 A 級インストラクターによる現地巡回を行い、柵の設置や管理状況、イノシシの侵入状況を調査し、柵の管理や捕獲対策を検討した。

### 3. 活動の経過と成果

実施期間 平成 25 年 10 月～11 月

現地巡回地区 アンケートにおいて、被害ありと回答した地区を選定

実施方法

- ・ 班ごと（南島原市 + 島原振興局 + NOSAI 南高南部支所又は J A 島原雲仙で構成）に 1 日で 4 地区程度実施。
- ・ 各地区代表者（または代理）立ち会いの下、被害発生個所を中心に防護柵等を点検・指導。
- ・ 防護対策管理チェック表を基に、各項目チェックを行い、各地区の対策状況の総合判断を行った。

成果

- ・ 各地区に対し、防護柵の管理等について対策の意識啓発ができた。また、この活動やその他対策の推進により、H24 年度イノシシ被害額は約 3,300 万円であったが、H25 年度被害額は約 3,000 万円（300 万円減）となった。

### 4. 今後の展開 防護柵の管理や捕獲対策等、各地区の課題に合わせた対策を継続的に取り組んでいく。



イノシシ対策 A 級インストラクターによる現地巡回

